

事務事業名		北里大学海洋生命科学部連携交流推進事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業																								
政策体系	政策名	07:相互に理解し、尊重しあう地域社会の実現			事業期間																									
	施策名	33:地域間交流の推進																												
	基本事業名	02:都市間交流の推進			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成15 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入																									
根拠法令		<table border="1"> <tr> <th colspan="5">予算科目</th> </tr> <tr> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業</th> </tr> <tr> <td>01</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>06</td> <td>13</td> </tr> </table>					予算科目					会計	款	項	目	事業	01	02	01	06	13									
予算科目																														
会計	款	項	目	事業																										
01	02	01	06	13																										
所属	部課名	企画政策部企画調整課			全体計画 (期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <th rowspan="6">総投入量 (千円)</th> <th rowspan="6">事業内訳</th> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <th rowspan="3">人件費</th> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A) + (B)</td> <td>0</td> </tr> </table>		総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計 (A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0	トータルコスト(A) + (B)		0
	総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金																											
都道府県支出金																														
地方債																														
その他																														
一般財源																														
事業費計 (A)			0																											
人件費	正規職員従事人数																													
	延べ業務時間																													
	人件費計 (B)	0																												
トータルコスト(A) + (B)		0																												
係名	企画係	電話	0192-27-3111																											
		内線	230																											

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)									
手段 (主な活動) 前年度実績 (前年度に行った主な活動) 海洋生命科学部及び学生との各種意見交換会の開催、学生の地域活動に関する支援、大学及び学生の活動を市民へPR 環境整備に関する各関係機関への要望 今年度計画 (今年度に計画している主な活動) 前年度実績の内容の他、学生対象の体験会 (三陸の恵みふれあい体験会)、北里大学関係自治体交流、越喜来地区ブロードバンド整備に伴う啓発及び加入促進活動など		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 市と大学・学生との打合せ回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ この事業で行った催事等の実施回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ 市・大学から関係機関への要望回数</td> <td>回</td> </tr> </table>	名称	単位	ア 市と大学・学生との打合せ回数	回	イ この事業で行った催事等の実施回数	回	ウ 市・大学から関係機関への要望回数	回	
名称	単位										
ア 市と大学・学生との打合せ回数	回										
イ この事業で行った催事等の実施回数	回										
ウ 市・大学から関係機関への要望回数	回										
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 北里大学海洋生命科学部の学生及び関係者		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 学生及び教職員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 学生及び教職員数	人	キ		ク		
名称	単位										
カ 学生及び教職員数	人										
キ											
ク											
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) 交流し視野を広げ、お互いの理解を深めてもらう。 特に不便を感じることなく生活してもらう。		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ イベントなど市内催事への学生サークル参加団体数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>シ この事業で行った市民の参加人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ス 学部・学生からの要望への対応件数</td> <td>件</td> </tr> </table>	名称	単位	サ イベントなど市内催事への学生サークル参加団体数	団体	シ この事業で行った市民の参加人数	人	ス 学部・学生からの要望への対応件数	件	
名称	単位										
サ イベントなど市内催事への学生サークル参加団体数	団体										
シ この事業で行った市民の参加人数	人										
ス 学部・学生からの要望への対応件数	件										
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 視野を広げ、文化的・経済的活動に生かす。											

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	年度					22年度 (目標)
			17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	
投入量	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円			452	355	20	200
	事業費計 (A)	千円	0	0	452	355	20	200
	正規職員従事人数	人	2	2	2	1	1	1
	延べ業務時間	時間	1,000	900	800	700	200	300
	人件費計 (B)	千円	4,000	3,600	3,200	2,800	800	1,200
	トータルコスト(A) + (B)	千円	4,000	3,600	3,652	3,155	820	1,400
活動指標	ア	回	18	26	18	15	4	10
	イ	回	4	7	7	5	1	2
	ウ	回	2	3	1	1	1	1
対象指標	カ	人	600	600	591	595	600	600
	キ							
	ク							
成果指標	サ	団体	9	14	13	12	10	12
	シ	人	180	470	664	1100	400	600
	ス	件	5	3	3	3	1	2

事務事業ID	0336	事務事業名	北里大学海洋生命科学部連携交流推進事業
--------	------	-------	---------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 平成15年度に大船渡市と北里大学水産学部（現：海洋生命科学部）との間で連携交流懇談会を開催し、連携交流に向けて進めていくこととなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	大学 全国的な流れの中にある少子化の影響を受け、全国の大学では志願者数の減少となり、学生の確保が厳しい時代を向えている。 このことから、北里大学海洋生命科学部においても、魅力ある大学づくりを進めている。 平成20年6月に、大船渡市との間で地域連携に関する協定を締結した。 学生 自主的に地域活動へ参加する学生が徐々に増えてきている。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 三陸地域審議会 地域住民と大学との交流をさらに促進させる場を設けてほしい。 大学 学生の安全確保又は利便性向上のため、可能な限り各種整備に努めてほしい。 学生 インターネット網の整備を実現してほしい。イベント等の情報提供を充実してほしい。などの意見が寄せられている。	

2. 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ 全国各地から来ている学生と市民及び当市との交流は、学生を介した市民レベルでの地域間交流であり、政策体系に結びつく。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ 北里大学海洋生命科学部は、水産振興を市勢発展の原動力に位置づける当市にとって、産業振興上にとどまらず、教育文化等様々な面で貴重な存在であることから、市が積極的に関与すべきものである。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 大学及び学生と市民、市が交流し、お互いを理解し合うのであり、対象、意図ともに適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ 交流を進めることで、文化・経済面など、更なる成果向上が期待できる。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ 学部及び学生と市民との交流は、徐々に定着してきた感はあるものの、未だ交流が盛んであるとはいえない状況であり、当面、廃止・休止できない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) 活力推進課「銀河連邦交流事業」 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ 活力推進課「銀河連邦交流事業」で、相模原市から転入してきた新2年生の学生を対象に新国民歓迎会を実施している。目的や枠組みが異なるため統廃合することはできないが、引続き市内での連携を図っていく。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 必要最小限の経費で対応しており、削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 交流を誘導するため、日常生活に関することから各種催事の提供など、広範囲にわたる支援を実施・提案する必要があることから、これ以上、人件費を削減することはできない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ 学部・学生とも、各種催事開催にあたっては、自らが実施できる分野は自らの負担により実施するとともに、市の支出も実施内容により適正に対応しており、公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点) (総括) 海洋生命科学部等から、一定の評価をいただいた。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と学生との交流を促進する。また、学生が行う地域活動に対して積極的に支援する。 ・次年度ブロードバンド整備が決定したことに伴い、啓発及び加入促進活動を展開する。 	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	企画政策部企画調整課長	
-------	-------------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由 海洋生命科学部等から、一定の評価をいただいている。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と学生との交流を促進する。 ・学生が行う地域活動に対して積極的に支援する。 ・22年度のブロードバンド整備事業に伴い、加入促進活動を展開する。 	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
